ベルマーク版オーサー・ビジット

尾木直樹さん　香川・善通寺養護学校

できない時にもほめてあげて

「尾木ママ」の愛称で知られる教育評論家の尾木直樹さんの特別授業は10月25日、香川県立善通寺養護学校（織田潤二校長、生徒132人）でありました。高等部の32人と保護者を前に子どもたちの悩みや質問に答えました。

「こんにちは、尾木ママよ。両生類よ。だから男の子の気持ちも、女の子の気持ちも分かるのよ」

生徒は大喜びです。事前にもらった質問に答える形で授業は進みます。

「すぐにイライラします。どうすればいいですか」という質問には、「高校生の頃は自分でも分からないのにイライラするのよ。思春期ストレスっていうの。いい方法があるわ」と「尾木ママ流タッピングケア」を紹介しました。

左手で心臓の下あたりを「大丈夫」と言いながらトントンと叩くと、子どもたちもやってみます。

「ほら、落ち着くでしょ」と笑顔を見せます。

「中学までいじめにあって引きこもりになりました。いまは、いじめはありませんが被害妄想をしてしまいます」という生徒には、「友達と遊んだり、先生とふざけあったりして学校生活を楽しくしようと考えるのよ」と肩をトントンとやさしく叩きました。

授業後は保護者と懇談会を開き、障害を持つ子の親の悩みを聞きました。

「子どもたちが何かしようとして、できない時にも褒めてあげてください。自己肯定感が大事。決してがんばれとは言わないように」と話しました。

善通寺養護学校は、心身に障害を持つ子どもが学んでおり、小学部から高等部まであります。

「みんな熱心に聞き喜んでくれました。来て良かった」と尾木さんは感想を述べました。

長谷川義史さん　長野・安茂里小学校

好きなことを見つけ、続けて

絵本作家、長谷川義史さんは10月28日、長野市立安茂里小学校（和田敦校長、児童300人）を訪れました。低学年、高学年にそれぞれ45分の授業は読み聞かせと歌、笑いと盛りだくさんで、子どもたちはすっかり引き入れられました。

大きな拍手で迎えられて舞台そでから長谷川さんがトレードマークの帽子に丸メガネ、ネクタイ姿で現れました。プロジェクターを使っての自作の読み聞かせは、「しってるねん」からです。全身を使った読み聞かせが続きます。

「手紙を読んでくれる人」「10月がお誕生日の人」と、長谷川さんが聞くたびに、元気よくハイ、ハイ、ハイと手が上ります。指名された子はちょっと照れながら前に出て、似顔絵を書いてもらったり、ウクレレに合わせて誕生日を祝ってもらったりしました。

授業の最後は、ちょっとまじめなお話です。

「長谷川さんは子どもの頃から絵を書くのが大好きでした。大きくなったら、絵を書く人になれたらいいなぁーと思っていました。みんなも何でもいいから、早く好きなことを見つけて、一生懸命やり続けてください」とエールを送ると、大きな拍手と、「ありがとうございました」の声が体育館に響きました。

高学年の授業では、長谷川さんの作った遊び歌の長野版「信州うまいもののうた」を子どもたちが歌って、歓迎しました。

誘致や歓迎に活躍した図書委員長の松永果鈴さん（6年）は大の本好きです。

「長谷川さんの本は面白い本だけではなくて、平和を伝える本もありました。こうして楽しい本で笑っていられることが平和ということなんだな、と思いました」と感想を話しました。

山崎直子さん　横浜・別所小学校

自分の軸を持ち、諦めないで

宇宙飛行士の山崎直子さんの講演は横浜市立別所小学校（矢崎真理校長）で11月22日にあり、児童456人と保護者が参加しました。

宇宙との出会いは小学2年生の頃。地域の「星を見る会」で初めて天体望遠鏡を使い、月のクレーターや土星の輪を見て感動したそうです。留学や就職を経て宇宙飛行士になる決意をし、2度めの挑戦で合格。

「どこかに行ったり何かを見たり、五感を使って体験した事は心に残ります。自分の軸を持ち、一度で諦めないで」と行動する事の大切さを話しました。

「地球を出発後、8分30秒で宇宙に到達」「国際宇宙ステーションは90分で地球の周りを一周する」「45分ごとに昼と夜がくる」といった宇宙の話に子どもたちは驚きの連続でした。

「宇宙から見る地球も美しいけれど、地球に戻ってくると普段当たり前に感じていた景色がとても美しく感じます」と話し、良い環境にしていきましょう、と呼びかけました。

最後に好きな言葉「wonderful（素晴らしい）」を紹介しました。「未来を予想するのは難しくて、悩んだり不安になったりすることもあるけれど、皆さんが未知のこと（ful）にたくさん（won）出会う事で、多くの可能性を作ることができます。未来に向かって素晴らしい人生を送って下さい」と話しました。

講演後は多くの質問があり、山崎さんは「宇宙飛行士になれた時、ゴールではなくスタートのような気がしました」「夢は考えているだけでは生まれません。興味があることや楽しいと思うことを積み重ねて、少しずつ自分の好き嫌いを知る事が大切。応援しています」と力強いメッセージを伝えました。

標語15本 キマッた！

クレハ・財団共同企画

「みつけるワクワク　きるウキウキ」…

ベルマーク財団と協賛会社のクレハ（ベルマーク番号10）が共同で企画した「標語募集キャンペーン」の受賞作品15点が決まりました。

おとな向け、こども向けのそれぞれ5点に贈られる「ベルファミリー賞」には、各作品にベルマーク点数20万点がプレゼントされます。「クルリ・クルミ賞」は、世代を問わず広く呼びかける標語5点で、児童・生徒全員にニュークレラップが贈られます。それぞれに可愛らしい賞状をお贈りします。

クレラップの発売（1960年7年）とベルマーク財団設立が一昨年、ともに55周年を迎えたの記念した企画です。誰にでもできるボランティア活動であるベルマーク運動を多くの人に知ってもらい、広く参加してもらえるような標語「大募集」の呼びかけに応じて寄せられた作品は、1万1255点に達しました。かわいいイラスト付きも多く、審査員はかなり悩んだ様子でした。

力作ぞろいの標語を絞り込むため、挙手する審査員たち＝東京都中央区のクレハ本社で

ベルファミリー賞　こども向け

仙台市　仙台白百合学園幼稚園　（野田凜子さん　年長）
「ベルマーク　みつけるワクワク　きるウキウキ」
東京都町田市立鶴間小学校　（西垣侑李さん　5年）
「ベルマーク　ちょきちょき広がる　みんなのピース」
横浜市立都筑小学校　（尾崎幹太さん　4年）
「助け合う　心をつなぐ　ベルマーク」
堺市立金岡小学校　（藤田咲和さん　4年）
「ベルマーク　はじめましての　ボランティア」
福岡県久留米市立犬塚小学校　（宮原優奈さん　3年）
「見つけてね　いろんなとこに　かくれんぼ ♪」

ベルファミリー賞　おとな向け

埼玉県伊奈町立小針中学校　（稲垣潤さん　3年）
「ベルマーク　離れていても　伝わる心」
東京都八王子市立椚田小学校　（角田悟さん＝先生）
「ハサミ持つ　ベルの向こうに　子の笑顔 ！」
神奈川県横須賀市立船越小学校　（杉本桜さん　6年）
「ベルマーク　小さな『愛』が　皆の『愛』」
神奈川県藤沢市　富士幼稚園　（村田史子さん＝保護者）
「ベルマーク　見つけた　わが子　満点笑顔」
京都市立開睛小学校　（山本弓枝さん＝先生）
「助け合い　小さなベルたち　夢はこぶ」

クルリ・クルミ賞

横浜市立北綱島小学校　（竹原幸さん＝保護者）
「ベルも積もれば愛となる！」
横浜市立原小学校
（及川真理子さん＝保護者、輝明さん 6年、和美さん 4年）
「『ベルマーク』　クルリとまわせば見つかるよ　幸せ運ぶ　愛の鐘」
岐阜県立可茂特別支援学校　（渡辺悠理乃さん　中学部2年）
「あっ！　あった。こんなところにベルマーク」
兵庫県姫路市立勝原小学校　（張野栄子さん＝保護者）
「ベルマーク　集めて　咲かそう　みんなの笑顔」
宮崎県高鍋町立高鍋東小学校　（小泉妃菜子さん＝4年）
「ベルマーク　わたしの1点　みんなにとどけ」

地域に呼びかけ　1万3千点寄贈

あいおいニッセイ同和損保釧路支社

協賛会社のあいおいニッセイ同和損保（ベルマーク番号92）の釧路支社（山下雅弘支社長）が北海道厚岸（あっけし）町内の11企業・団体、町などと集めたベルマーク1万2800点を12月22日、町立太田小学校に寄贈しました。

釧路支社は管内の商工業者や各種団体、町に呼びかけてベルマーク収集に取り組んでおり、現在は約100社がサポーターとして登録しているそうです。

22日は山下支社長と町内のサポーター発起人で、地元の三浦自動車整備工場の三浦俊輔代表の2人がトナカイとサンタクロースに扮して、ベルマーク活動に参加している太田小を訪れて、「備品購入に役立ててください」とお菓子と一緒にプレゼントしました。終業式前の、思わぬプレゼントに子どもたちは大喜びだったそうです。

ベルマークカレンダーをどうぞ

2017年版の「ベルマークカレンダー」が出来ました。財団ホームページからダウンロードできます。ご自由にお使いください。